



33 安徳帝 内裏跡伝説地



安徳天皇は、平清盛の娘建礼門院徳子を母として生まれ、1180(治承4年)年2歳で即位しました。平家一門と西へ都落ちの途中、一の谷に一時内裏をおかれ、1185(寿永4年)年、壇ノ浦で平家滅亡とともに入水されたと伝えられています。

32 一の谷



1184(寿永3年)年源平の戦いの際、平氏の陣があったことから、一の谷の川を古来「戦の川」といい、その奥を「源平つつじのさきわけの谷」といいます。この谷を200mあまりさかのぼると2つに別れており、西の谷を「赤旗(あかはた)の谷」といい、平家の赤旗でみちていた谷だと伝えられています。

31 須磨寺



886(仁和2年)年創建。正式には福祥寺といい、毎月、20日、21日の「お大師さん」の日は大勢の人でにぎわいます。本堂内の室町期の宮殿・仏殿や十一面観音像など重要文化財も多く、境内には源平にまつわる史跡・遺品や、句碑・歌碑も多数あります。

30 綱敷天満宮



日本二十五社のひとつ。菅原道真が九州に左遷された際、風波を避けて須磨へ一時上陸され、土地の漁師たちは美しい松の木の下に大きな魚網で円座を作り、その上に休息させました。後に道真は天満天神として祭られ、979(天元2年)年ここに天満宮が創建されたと伝えられています。